

校内で出会った人（教師、友だちやお客様等）に対し、時と場に応じた挨拶ができる

カリキュラムNo.49・・・やさしい子ども・・・


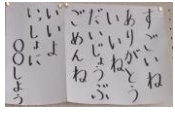
**あかるいこえで
場にあわせて挨拶をする**

4～6月
桜台小学校

☆ 視点に関わる就学前の状況（4月からの状況） ☆

保育園や幼稚園では、たくさんの人との関わりの中で、挨拶をする経験を多くしてきている。その経験をもとに、小学校でも自分から進んで元気よく挨拶をする子どもがいる一方で、恥ずかしがって自分から挨拶をすることができない子どもも見られる。また、場に応じた言葉づかいができない子どもも見られる。

☆ 接続期の状況（教科の時間） ☆

指 導 内 容	子どもの姿・子ども同士のかかわり
<p>あかるいこえで 〈4月〉国語科「あかるいこえで」・日常の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 相手に応じて、丁寧な言葉と普通の言葉との違いに気を付けて挨拶をすることができる。 <p>・朝起きてから学校へ来るまでに、誰にどんな挨拶をしたのか出し合い、相手に応じた挨拶の言葉を考え、指名されたときの返事の仕方について考える。</p> <p>・挿絵をもとに、一日の挨拶について考え、家族や先生、友だち、近所の人などを想定して挨拶の練習をする。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> 場面や相手に応じて、いろいろな挨拶があることを知り、挨拶の言葉を言おうという意欲をもつ。 先生や友だちとのやり取りの練習を通して、挨拶の仕方を知り、友だち同士で挨拶をすることができるようにする。
<p>あかるいあいさつ 〈4月〉道徳・日常の活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 挨拶の重要性を自覚し、気持ちのよい挨拶、言葉づかい、動作などに気をつけて、誰にでも明るく接する習慣をつける。 <p>・教師が演じた「よい挨拶」と「悪い挨拶」を見て、挨拶の仕方に注目させる。</p> <p>・「あいさつリレー」のゲームをペアで行う。</p> <p>・気持ちのよい挨拶をしたり、されたりしたときの気持ちを考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 元気よく言うこと、相手の顔を見ること、にっこりするとよいことに気付かせる。 上手にできていたペアを紹介し、意欲がもてるようにする。 気持ちのよい挨拶は、自分とまわりの人の心を結んでくれるという役割に共感できるようにする。
<p>がっこうにいこう 〈4月〉生活科</p> <ul style="list-style-type: none"> 登下校のときのことを話し合っ、登下校時の挨拶や交通安全上のルールに気付くとともに、毎日の登下校時の通学路の様子や人々との関わりに関心をもつことができる。 <p>・教科書の挿絵を見ながら、登下校のときに子どもたちがどんなことをしているのか話し合う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 交通ルール、地域の人との挨拶、自然の様子について、子どもたちの多様な意見を認め、日常生活に生かすように促す。
<p>なんていったらいいのかな 〈6月〉国語科</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、人と人をつなぐ働きがあることに気付き、相手や場面に応じて話すことができる。 <p>・学校での生活の様子の絵を見ながら、何をして、どんなことを話しているのか発表する。</p>	 <ul style="list-style-type: none"> 経験をもとにしながら、それぞれの子どもの立場になって、どんなことを言ったらいいのか考える。

☆ 考 察 ☆

4月中旬ともなると、学校生活にも慣れ、新しい友だちとの関係が始まる時期である。その時期に教科の枠をこえて、挨拶のよさや挨拶の仕方について考えて取り組ませていくことが必要である。そして、学級の中でも練習の場を設定しながら、自分から進んでよい挨拶ができるように繰り返し声かけが大切である。